

第19回 ジャパンオープンハンドボルトーナメント 戦 評 報 告 書

競技日	平成26年 8月11日	試合番号	A-ふ
種別・回戦	男子・準々決勝	会場	河南総合体育館

<small>ひみくらぶ</small> 氷見クラブ		<small>ほんだ</small> HONDA		得点チェック欄		
18	10	前半	10	22	前半	<input type="checkbox"/>
	8	後半	12		後半	<input type="checkbox"/>
		第1延長 前半			第1延長	<input type="checkbox"/>
		第1延長 後半			第2延長	<input type="checkbox"/>
		第2延長 前半			7mTC	<input type="checkbox"/>
		第2延長 後半			合計点	<input type="checkbox"/>
		7mTC			記録主任確認	<input type="checkbox"/>

戦評	戦評委員氏名	三岩敬孝
----	--------	------

氷見クラブのスローオフで試合が始まった。開始早々氷見クラブ16番稲積、10番東、4番長野の連続シュートで立ち上がり氷見クラブリードで試合が進む。前半4分HONDA7番早川のミドルシュート、8番伊藤の7mスロー、6番竹田のカットインシュートの連続得点で点差を縮める。その後両チームとも得点を重ね前半10対10の同点で折り返す。

後半早々HONDA11番野嶋がフェイントからのシュートを決める。15分過ぎ15対12で3点差がつき氷見クラブがタイムアウトを請求するが試合の流れは変わらず、その後もHONDAが加点し点差が開く。氷見クラブ4番長野、3番松原のシュートで点差を縮めるが22対18でHONDAが逃げ切り勝利した。

送信担当記録委員	金丸 央
----------	------